

8月の栽培管理について

向こう1か月の天候の見通し(近畿地方7月29日～8月30日:大阪管区気象台)は、8月は平年に比べ晴れの日が多く、平均気温は高い確率50%です。

しかし、12～14日にかけて通過した線状降水帯の影響により断続的な降雨が続いた後も、大雨に関する近畿地方気象情報 第12号(2021年08月16日06時20分 大阪管区気象台発表)では、近畿地方では、16～17日にかけて激しい雨が降る見込みであり、その後も18日頃にかけて大雨が続くおそれがある旨情報提供がありました。

現地巡回ではほ場を拝見した結果も踏まえ以下のことを提案しますのでご検討ください。

☆ほ場の排水対策 雨水が速やかにぬけるようしっかりと**排水路を確保**しましょう。

☆病害の防除の実施

今回の大雨で特に、「軟腐病」「白絹病」が発生しやすいことからご注意ください。

また、今後は晴天が続くと「アザミウマ類」「ハモグリバエ類」の被害が心配されます。

殺菌剤とあわせて定期的な防除を行きましょう。

☆8月葱はゆっくりとしか生育しません。高温期に無理に土寄せすると傷がつき、病気が発生しやすくなります。高温期は必要最低限の土寄せ量とし、葉の分岐点が埋まってしまわないようにご注意ください。

☆雑草の根と葱の根は地中で絡み合っています。除草作業で株元の雑草を引き抜くと葱の根を傷つけてしまい、その傷口から病気が侵入し発病の「切っ掛け」となることから株元の雑草は引き抜かず地上部を刈り取ってください。

<今月の防除例>

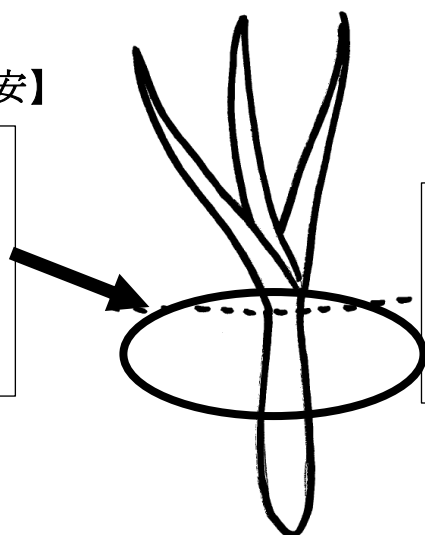
- ① オリゼメート粒剤、スターナ水和剤、カスミンボルドー(軟腐病)
- ② モンガリット粒剤、モンカット粒剤、リゾレックス水和剤、(白絹病)
- ③ スタークル顆粒水溶剤、ベネビア OD(アザミウマ類、ハモグリバエ類等)

※アザミウマ類、ハモグリバエ類の発生状況に応じて2回/月程度を目安に防除実施

※バイオキパー水和剤(予防剤)使用についてはJA等にお問い合わせください。

【高温期の土寄せの目安】

葉の分岐点以上に土寄せすると危険です。葉が柔らかいので傷つきやすく病気にかかりやすくなります。



この点線以上の土寄せは要注意!

<主な農薬一覧>

対象病名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
疫病	アリエッティ水和剤	収穫3日前まで	800倍	3回以内	殺菌(治療)

対象病名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
べと病	アリエッティ水和剤	収穫3日前まで	800倍	3回以内	殺菌(治療)
べと病	アミスター20フロアブル	収穫3日前まで	2000倍	4回以内	殺菌(治療)
べと病 注1	プロポーズ顆粒水和剤	収穫14日前まで	1000倍	3回以内	殺菌(治療)
べと病 注1	リドミルゴールドMZ	収穫30日前まで	1000倍	3回以内	殺菌(治療)

対象病名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
軟腐病	オリゼメート粒剤	土寄せ時 収穫30日前まで	6kg/10a	2回以内	殺菌(予防)
軟腐病	ヨネボン水和剤	収穫7日前まで	500倍	4回以内	殺菌(予防)
軟腐病	カスミンボルドー	収穫14日前まで	1000倍	2回以内	殺菌(治療)
軟腐病	スターナ水和剤	収穫7日前まで	2000倍	3回以内	殺菌(治療)
軟腐病	バリダシン液剤5	収穫21日前まで	500倍	1回	殺菌(治療)

対象病名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
白絹病	モンガリット粒剤	土寄せ時 但し、収穫14日前まで	4~6kg/10a	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	モンカット粒剤	土寄せ時 但し、収穫30日前まで	4~6kg/10a	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	モンカットフロアブル40	土寄せ時 但し、収穫30日前まで	2000倍	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	ロブラール水和剤	収穫14日前まで	500~1000倍	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	リゾレックス水和剤	土寄せ時 但し、収穫14日前まで	1000倍	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	アフエットフロアブル	生育期 但し、収穫14日前まで	1000~2000倍	2回以内	殺菌(治療)

適用病虫害雑草名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
アザミウマ類 注5	スタークル顆粒水溶剤	収穫3日前まで	2000倍	2回以内	殺虫
アザミウマ類 注5	ベネビアOD	収穫前日まで	2000倍	3回以内	殺虫

注1: 他の野菜で疫病の登録があるもの

農薬登録: 令和3年6月4日

注2: 農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器のラベルに従ってください。

注3: 高温時の散布は薬害が危惧されるため避けてください。

注4: 発病の状況に応じて、農薬は変更してください。

注5: ハモグリバエ類の登録あり。